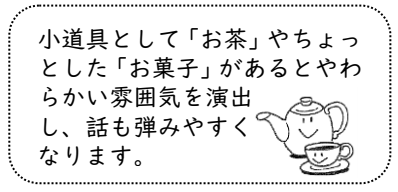


進行案

ねらい

○ルールを守り、マナーを身につけることは、自分と周囲の人を大切にしたい社会の実現につながります。しかし、ルールやマナーが習慣となるためには、小さいときからの親の意識付けが必要です。日常生活の中で、ルールやマナーを子どもに身につけさせていく親の関わり方について学び合います。

時間	内容	主な活動	留意点
例： 60分 00:10	はじめのこ とば	「みなさん、こんにちは。ご多用のところ参加いただきありがとうございます。今日は、年齢に応じた“社会のルールやマナー”について、考えてみたいと思います。司会の〇〇です。よろしくお願いします。」	◇笑顔で親しみやすい言動に努めましょう。
	3つの約束 確認	「この会は、ともに楽しく学び合い、みなさんで作り上げていくものです。誰もが『参加してよかった。』と思える会にするために、協力していただきたい3つの約束があります。」 ① 参加 「積極的に話し合いに参加しましょう。全員が参加できるように、協力をお願いします。」 ② 尊重 「お互いの意見や感じ方を尊重しましょう。他の参加者の意見を否定したり、自分の考えを押し付けたりしないようにしましょう。話したくないことは、パスしてもかまいません。」 ③ 守秘 「子育ての交流ですから、個人情報に関わる内容も出てきます。同じ時間を共有する者同士の信頼関係のうえで行われる交流です。決して口外しないようにしましょう。」	◇会を成功させるために、学習を始める前に参加者全員で「3つの約束」を確認しましょう ◇一人が話し過ぎないように、時間配分を考えながら、全員に話す機会を回すようにしましょう。 ◇相手の目を見てうなずきながら聞くとか、相槌を打ちながら聞くなどすると、話す人も嬉しいですね。」と具体的な聞き方を伝えると分かりやすいでしょう。 ◇子育て中の親として、家族に関わることも話題になりますが、自由に話してもらうためにも、信頼関係が大切であることを理解してもらいましょう。
00:10	アイスブレ イク	「それでは、みなさん、私と一緒に心と体をほぐしましょう。」 「少し緊張していらっしゃるようですので、一緒にリラックスしましょう。」 バースデーチェーン 「1月から早い生まれ順に並び替えます。そのときに話してはいけません。ジェスチャーで、相談してください。それでは始めましょう。」 「それでは、緊張もほぐれたところで、お配りしたプリントの『こんなことはありませんか』をそれぞれお読みください。」	◇アイスブレイクとは、参加者の不安や緊張を氷にたとえ、その氷（不安や緊張）を溶かすという意味をもった活動です。 ◇15ページ「7 アイスブレイク」に活用できる簡単なゲーム①参照 ◇誕生日順だけでなく、その日早く起きた順などでもできますよ。



<p>00:30</p>	<p>ワークシ ョ ップ</p>	<p><ワーク1> ロールプレイ 「子ども役、お母さん役になって、言葉を言 ってみましょう。」</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・おじさんに怒られて、お母さん、 はずかしいわ。 ・ほら、怒られたじゃない。 ・なんで走り回るの。 ・何がいけなかったの。 など </div> <p>「ロールプレイを行ってみて、子どもへの言 葉かけで気づいたことや、自分にできる言 葉かけを記入し、交流しましょう。」</p> <p><ワーク2> 「日頃、わが子やよその子を見ていて、子ど もに教えたルールやマナーには、どんな ものがあるか、出し合ひましょう。また、 どんなふうに教えたらいいか、グループの みなさんから意見を聞くとよいですね。」</p>	<p>◇「こんなことはありませんか」 については、詳細な説明はせず に、読んでいただくとよいでし ょう。</p> <p>◇感じたことを気楽に話せるよ う話している方を見て、うなず きながら聞くようにしましょ う。</p> <p>◇時間があれば、上手に役になり きってロールプレイしている 組に演じてもらうのもよいで すね。</p> <p>◇グループごとに交流する際、 「自分にもありそう。」「よい 方法だなあ。」などと思った意 見は、ワークシートの「いい ね!」の欄にメモを取るとよい ことを事前に伝えておきまし ょう。</p> <p>◇出された意見をまとめたり、結 論を出したりする必要はあり ません。自分自身、こんなヒ ントをもらったというように、同 じ立場で話すとよいでしょう。</p>
<p>00:10</p>	<p>ふりかえり</p> <p>おわりのこ とば</p>	<p>「いろいろな場面で、いろいろな言葉かけが ありますね。事前に約束しておいたり、そ の場で子どもに言葉かけをしたりするこ とで、子どもはルールやマナーを学んでい きますね。」</p> <p>「『親の背中を見て子は育つ』と言いますが、 このチェック表をやってみてください。大 人の言動を子どもはちゃんと見ているも のですよ。」</p> <p>「みなさん、今日参加されていかがでした か。毎日、お子さんを目の前にして奮闘し ていらっしゃる皆様方にとって、少しでも 気持ちが軽くなったり、何かヒントを得た りしていただけたならうれしいです。これ からも、お困りのことがあれば、一人で悩 まずにこのような機会を活用したり、参加 された方同士情報交換したりしてくださ いね。」</p>	<p>◇資料の「大人が変われば、子ど もも変わる運動」チェック表を 配布します。</p> <p>◇資料のページから活用できる ものがあれば、それをもとに話 すのもよいでしょう。詩や本の一 部を引用して、読んで紹介し てもよいですね。</p> <p>◇最後は、参加者の日頃のがんば りを認めることのみとし、指示 やアドバイスをすることは避 けましょう。</p>

<p>時間がもっと取れるなら、こんな方法もありますよ</p>		
<p>ワークシ ョ ップ</p>	<p><ワーク2> 「子どもに教えたいルールやマナーには、どんなものがあるでしょうか。青色の付箋に1つずつ書き出してみてください。」</p> <p>「書いた付箋は、表のあてはまる場所に貼り付けていってください。」</p> <p>「いろいろな場所に、いろいろなルールやマナーがありますね。それでは、グループで出されたルールやマナーについて、どんなふうに教えていращやるか、黄色の付箋に書いてくださいね。実際に我が家では、こんなルールを設けてよかった、こんな約束をしている、その場でこんな言葉かけをしているといったことも出してくださいね。今、思いついたものでもかまいませんよ。」</p>	<p>◇P10「6 取組を活発にする手法あれこれ」③ブレインストーミング」参照。</p> <p>◇2色の付箋、画用紙を準備する。 ・ルールやマナー…青色 ・教え方…黄色</p> <p>◇「その方法いいですね。」「そんなやり方もあったのですね。」などと、ほめる声かけをするとよいですよ。</p>
<p>いくつかのグループがあれば、発表の時間をとりましょう</p>		
	<p>「さあ、それぞれのグループごとにどんなルールやマナーがあって、どんなふうに教えていращやるか、発表してもらいましょう。」</p>	<p>◇付箋を貼って整理した資料を示しながら説明してもらいとよいでしょう。全員役割分担をして、発表するというのもグループの連帯感が強まりますよ。</p>

